

第1回基本計画審議会における傍聴者数と意見・感想

◇第1回審議会傍聴者数

		傍聴者数
会場	一般	4人
オンライン	一般	14人
	区職員	33人
合計		51人

※動画視聴回数（10月19日17時時点）：190回

◇傍聴者意見

（傍聴者 A）

- ・区民検討会議を傍聴した時に、“好きなところ”から入ったせいもあってか、“住みやすい”に代表される「世田谷素晴らしい!!」の（悪く言えば）金太郎飴と感じました。
- ・確かに、非常にいい区政が展開されていると思いますが、世田谷区で完結できる未来はなく、もっと大きな視野が必要と感じていました。
- ・今日は、委員の先生方のお話で、大きな希望を感じました。青柳先生の“危機感”については、全く同感で、それへの対処があってこそ持続可能な世田谷の未来だと思います。他にも、環境・教育の御専門の先生がいらっしや、将来への大きな取組みが描けそうな気がします。
- ・国政の至らない点を如何に埋めていくか、危機的状況に対する取組みの見える化とでも言うべき計画を期待します。

（傍聴者 B）

今回の基本計画は世田谷の将来の方向を示すものとなり、大変重要な審議会となります。そのために、区長あいさつにもありました区民の声をくみ上げる努力が大事だと思います。そのためにこれまでの区民検討会議の開催、インターネット等を活用、さらに区長と区政への声を届ける「ハガキ」などを区民に広報して区民参加をひろげてほしい。そのために審議会の開催の区報などの紹介でも小さすぎる。審議途中を含めて特集の区報を発行して情報公開し、区民を盛り上げることを重視してほしい。区民参加の規模を社会情勢にふさわしいものになることを期待します。

（傍聴者 C）

- ①現況資料は、世田谷だけの現状に止まっており、他都市との相対的比較資料が少ない。具体的には、可能ならば日本国内の中のリーディング都市になるべく、また更には国際的にも注目されるべく、国内外の同程度の人口規模の都市との比較により、プラス・マイナス面に視点を当てその実態の要因を分析しながら施策検討に生かして欲しい。また、有識者委員から指摘された各種データも整理・分析する意味もある。
- ②有識者委員は幅広い分野から選考されており、効果的な構成と思われる。また、それ故に諸先生方の意見がおもしろく、傍聴させていただいて有益であるため次回も希望したい。